

八幡浜市

×

八幡市

令和8年8月8日、9日

「八の日」記念事業

特産品の販売や二宮忠八翁の展示企画

日本の航空界の父である二宮忠八翁が生誕した愛媛県八幡浜市と、彼が晩年を過ごした八幡市。地名「八幡」を「やわた」と読む縁でも結ばれ、昨年8月19日に友好都市協定を締結しました。

■「八の日」記念事業

令和8年8月8日、9日は「八の日」として両市でお互いの市の紹介、特産品の販売、二宮忠八翁の展示企画を同時開催し、多くの来場者で賑わいました。



イズミヤ八幡店での「八の日」



走井餅づくりに挑戦する生徒

石清水八幡宮の前で記念撮影をする生徒

18日～20日に中学生交流

四季彩館で食事／走井餅づくりに挑戦

■中学生交流

8月18日～20日には平成25年度から続く両市の中学生交流を実施。今年は八幡浜市の中学生20人が本市を訪れ、本市の各校から推薦された中学生と体験活動を通して交歓しました。

初日は両市の魅力紹介に続き、竹つぎりレーや事前に準備した

デザインを持ち寄って同事業のイメージキャラクターの考案などを行い、すぐに打ち解けました。

夜は四季彩館で一緒に食事を楽しみ、会場は賑やかな笑い声で包まれました。

翌日は八幡のまちを知る機会として、石清水八幡宮、飛行神社への参拝や、二宮忠八翁の墓参り、

松花堂庭園にも訪問。走井餅老舗11代目井口さんの指導を受け、走井餅づくりに挑戦するなど八幡の歴史や文化に触れながら、生徒たちは友好都市の仲間と交流し、親睦を深めました。

また、事業後の感想フォームでは、コミュニケーション力や自信を持つ力、友達を得たと、前向きな声が寄せられました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。

身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

八幡市×ミキハウス×明治安田

プレママ・プレパパセミナー
in八幡市役所

23組が育児体験

“気になるお金、セミナーも

8月1日、市役所で子育ての基礎を学ぶ体験型講座「プレママ・プレパパセミナー in 八幡市役所」が開催。今秋から来年2月に出産を予定している妊婦とパートナーを対象に、23組が参加しました。

今年で3回目の開催となる本セミナーは、市とミキハウス、明治安田の連携企画。もうすぐママやパパになる参加者が安心して赤ちゃんを迎えられるよう、様々な分野の専門家を招いて行われました。

最初のミキハウスによる育児体験プログラムでは、参加者は子育て経験豊富な講師からおむつや肌着を選ぶ基準、替え方、沐浴のしかたを学んだ後、約3kgある赤ちゃん人形を使って実践。おむつや肌着の形や生地の質感を確かめながら取り組みました。また、市からは運動と交流をセットにした教室「MOM UP PARK」の紹介や「ママの健康」をテーマにした運動体験、明治安田からは、出産や育児に必要なお金のセミナーも行われました。

市内在住の参加者からは「出産前に知りたい情報をポイントごとに知れて良かった」との感想をいただきました。



おむつの質感を体感する参加者

今月のこの人

4月に
消防団長就任

基本の徹底が自信に繋がる



大学卒業後、八幡市に戻り造園業を開始。平成5年4月消防団入団。分団長、副団長等を経て、令和8年4月団長就任。活動歴34年。市内在住。

山本
成利
さん

「八幡市の消防団には活気がある」と話すのは、4月に団長に就任された山本成利さん。

八幡市では各地域に指導員の立場を設け、操作等の基本技術を競う、消防操法大会に出場する団員の訓練に他の地域の指導員も参加する等、地域を越えた取り組みを行っています。「市全体で活動を行う意識が芽生え、信頼関係の構築に繋がって

いる」と、山本さんは考えます。

また、「近年、出動件数は減っている傾向にある。出動の際に困ることがないように、基本の部分を徹底するよう指導していきたい」と話されます。

山本さんも、最初の訓練では知識もなく、訓練についていくだけで必死だったと言います。「最初の出動では使命感よりも不安感が大きかった」。初出動

後、不安に感じた基本動作の訓練を繰り返し行うことで自信に繋がっていったそうです。

最後に、「消防団は下が大学生、上が71歳と、年齢も職業も様々な人が入団しており、普段交流がない人と繋がる場です。地域貢献はもちろん、多くの人生経験が得られる貴重な機会になりますので、男女問わず皆様の入団をお待ちしています」と、地域防災を担う仲間を求めておられました。